



◆練習スケジュール◆

月 / 日		会 場	時 間	備 考
10 月	22日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	29日(土)	//	//	
11 月	5日(土)	中央公民館 305 室	//	
	6日(日)	尾張旭市民音楽祭	※詳細は2ページをご覧ください	
	12日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	19日(土)	//	//	
	26日(土)	//	//	
12 月	3日(土)	//	//	
	10日(土)	//	//	
	17日(土)	//	//	
	24日(土)	年末につき練習はお休みです		
H29 1月	7日(土)	新年会(予定)		※日程は未定です
	15日(日)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	21日(土)	//	//	
	28日(土)	//	//	

(注) 備考欄 P練習=パート練習 V.T.=ヴォイストレーニング 特練=特別練習 です。

※ V.T.とは = 全団(男・女)で取り組む、毛利先生指導による発声練習です。

※ P練習とは = パート単独での自主練習です。(通常練習の補足です)

●演奏会がケーブルテレビにて放送されます！！

グリーンシティケーブルテレビのコミュニティチャンネル「そらまめチャンネル」で

「そらまめスペシャル」として当団演奏会の様子が流れます。

放送日、時間は下記の通りです。ケーブルテレビを利用されている方、情報お待ちしております。

〈放送日〉 2016 年 10 月 30 日(日) ~ 11 月 5 日(土)

〈放送時間〉 12ch(地上デジタル121ch)

月曜~金曜 10:30~ / 16:45~

土曜・日曜 10:30~ / 18:40~

11ch(地上デジタル111ch)

毎 日 13:00~



第 35 回尾張旭市民音楽祭 に参加します

と き：2016年11月6日（日）

会 場：尾張旭市文化会館ホール

演奏曲：「Abschied vom Wald」（メンデルスゾーン）

「見上げてごらん夜の星を」

「少年時代」

「心に花を咲かせよう」 〈演奏順〉

衣 装：男女とも自由（着物・ロングドレス不可）

タイムスケジュール

9:00 あさひのホール前集合

9:08～10:08 あさひのホールにて発声・練習

10:08 文化会館ホール 下手にて待機
○指揮者・ピアニストも同様

10:13～10:34 本番
※ハーモニカひまわりの次（尾張旭女性コーラスの前）

演奏後、上手へ退場

○指揮者・ピアニストも同様

ロビーにて先生方の講評を伺い、その後解散

※ 駐車場が少ないため、城山公園に駐車し、乗合せにて会場においでください。

※ 着替室＝中央公民館 101A（女）、101B（男）

控 室＝中央公民館 209・210（9時～12時まで自由に使えます）

※ 荷物については廊下に机の用意がありますが、貴重品は各自管理をお願いします。

※ 時間管理は個々で意識しましょう。

※ 橋詰ひろみさん、水野真弓さん、若尾紀子さんにお手伝いをお願いしました。

2016年9月末にて ベース **加藤 正**さん 退団です

今後も合唱は続けになるとのこと。

また一緒に歌えることを楽しみにしています。

ようこそ旭混声へ！！ 10月より入団のお二人です！

ソプラノ 井上 徳枝 さん

ソプラノ 徳永 信子 さん

いきなり2人増！ 最強のソプラノへの歩みは着々と…。

『第10回演奏会』実行委員会 報告書

今回の演奏会の成功は、団員の皆さんのがんばりもさることながら、なんと言ってもご多忙の中、4ステージ分のご指導、指揮をしてくださった神谷先生、素晴らしいピアノを奏でながら、特練のご指導までしていただき、そして錚々たる弦楽奏者の皆さんを連れてきてくださった石川先生、お二人がいらっしゃらなかったら、こんなに贅沢な演奏会をすることはできませんでした。

今回も実行委員長として事務方を担当しましたが、説明不足等、いろいろと皆さまを迷わせ、ご迷惑をおかけしました。

初めて携わったオーケストラのことは何も知らず、名フィルの先生方にはやりにくい点がたくさんあったのではないかと…オケをお願いするということはどういうことか、いろいろと勉強になりました。

前回、初めての実行委員長でドキドキしながら当日を迎えたことも記憶に新しいのですが、今回はしなくてはいけないと思うことが多く、あれもこれも間に合っているかどうかドキドキしながら、本番を迎えました。

今回の演奏会も、皆さんの協力サポートがあったからこそたどり着くことができました。
ありがとうございました。

実行委員長 波多野ユキ

●会議実績（全8回実施）

年月日		内 容
2015 年	10月17日(土)	第1回実行委員会 演奏会日程、会場確認 演奏会ヴィジョン、名称等検討
	11月28日(土)	第2回実行委員会 オーケストラ、特別会計、プログラム、スケジュール等検討
2016 年	2月20日(土)	第3回実行委員会 チラシ、プログラム作成 オケ合わせ日程、衣裳等検討
	3月26日(土)	第4回実行委員会 チラシ、打上げ会場等検討
	6月18日(土)	第5回実行委員会 会計監査、渉外行動計画、第3ステージ、タイムテーブル等検討
	7月16日(土)	第6回実行委員会 プログラム、アンケート、進行表、第3ステージ等検討
	9月3日(土)	第7回実行委員会 演奏会準備確認
	10月1日(土)	第8回実行委員会 御礼状等検討 反省

●反省点・次回検討事案

・駐車場が足りなくて、停められない方がいらっちゃった。シルバー人材以外にも、こちらから担当を出すべきでは。

→今回も第9回と同様、シルバー人材から4名の方を依頼。駐車場は、道路反対側を除いて、約450台分を開けていただきました。今回は入場者数も増え、また、雨もひどかったため、車の台数が多かった

かもしれません。

次回も瀬戸市文化ホールで行う場合は、駐車場を全て空け、シルバー人材の人数を増やし、全体の様子を見、何かあったら連絡してもらうお手伝いの方をお願いする必要があると思われます。

- ・ホールの2階が最初開いてなかった。
→ホールの方が忘れていたらしいです。すぐに開けられるので大丈夫ですが、「2階で聴きたい方もいらっしゃる」ようですから、次回は最初から2階を空けておいたほうがよいでしょう。
- ・雨でもあり、尾張瀬戸からホールまで歩くのが大変な方のために、瀬戸市のコミュニティバスの案内がチラシにあると良かったかも。
→案内をチラシの裏面に掲載するなど考慮する必要があると思います。コミュニティバスの情報を実行委員会まで上げる必要も。
- ・整理券を持っていない人が、何人か不安で尋ねられた。
→整理券の必要性、枚数の増加、もしくは廃止等の検討が必要と思われます。
- ・終演後、団員への差し入れの置き場所がわかりづらく、忘れる人が続出した。打上げの最後に名前を読み上げたらどうか。
→今回は、打上げ会場と荷物置き場が別室だったため起きてしまったと思われます。同室の場合でも、最後に名前を読み上げると確実になります。
- ・鍵の置き場や、影アナさんのこと(お弁当)や、衣装替えの仕方等がわかりづかった。
- ・ロビーコールを行うと、来客の姿を見ることができる。→3ステージなら実施可能。要検討。
- ・文書係：チラシ作成のための話し合い（コンセプトとかイメージとか曲の重要度とか）の時間がもっと必要かも。
- ・衣装係：女声の着替え場所と着替えのタイミングがうまく伝わっていなかったようで（1・2 ステ衣装を着る場所、最後私服に着替える場所）、若干の混乱があった。
- ・3ステ台本担当として：あんな拙い台本に沿って3ステ作り上げて下さった皆様に感謝感謝。
わかりやすい台本、動き表が作れなくてゴメンナサイ（特に動き表は、団員サイドからのマス表であるべきでした）。
- ・連絡事項を文書化して広報なり一枚ぺらなりにして配布しても、あまり確実に伝わらないと判明（読まないのか、読んでも忘れるのか、それほど重要視してもらえないのか…）。
→いかに確実に連絡するか今後の課題と思われます。
- ・仕事の一極集中を防ぎたい（一人の人間に仕事が集中しがち）
→作業をマニュアル化しては。要検討。

● 渉外活動記録

H28-9-24

渉外委 橋詰

区分	内容	件数	補足事項	担当者	実績枚数		日程					
					チラシ	整理券	5月	6月	7月	8月	9月	
団員によるPR	① 団員による直接PR		各人チラシ整理券各20枚	全員(パートリーダー経由)	1,267	1,127						
	② 先生方による "		更に追加を含む		743	230						
					計2,010	1,357						
他の コーラスGへの 訪問PR	① 瀬戸音連コーラスグループ	15		○渉外委員,実行委員 ○支援をお願いした団員	535	175	5/ 25 連 盟 訪 問					
	② 尾張旭市コーラスグループ	8			310	172						
	③ 名古屋市内 "	-			-	-						
	④ 長久手市内 "	3			102	45						
	⑤ 春日井市内 "	2			150	109						
	⑥ その他 瀬戸老連エンゼルコーラス	1			140	60						
	瀬戸元気会	1			80	50						
	旭年金会	1			140	-						
	教会関係先	2			地域含	-						
						計1457		611				
郵送便によるPR (招待状、案内、 チラシの発信)	① 招待者 ・神谷、石川先生関係		封書による発信	S若杉,B酒井	16	16						
	・元指揮者、ピアニスト				11	11						
	② 県合唱連盟会員(個人、団体)	139			166	166						
	③ OB、OG、休団者	107	はがきによる発信		-	-						
	④ 瀬戸音連コーラスG(一部)	7	封書による発信		127	-						
					計320	193						
他コーラスGによる 演奏会でのPR (チラシの プログラムへの 差込み作業)	① 瀬戸メサイヤ	1		○渉外委員,実行委員 ○支援をお願いした団員 ○OG須田さん	1,005	-	4/24					
	② 名古屋ユースクワイヤ	1			500	-	5/8					
	③ 名古屋守山合唱祭	1			300	-	5/22					
	④ 瀬戸第九	1			1,000	-		7/10				
	⑤ 名古屋少年少女	1			1,000	-			8/12			
	⑥ 瀬戸合唱フェスティバル	1			700	-				9/4		
	⑦ 長久手文化の家友の会演奏会	1			300	-		7/27				
						-						
				計4,805	-		配布		補充			
公的機関の活用 (チラシの配布)	① 瀬戸市 公民館他	25	瀬戸市地域活動支援室	○B近藤(新) B橋詰 ○OG植村さん	900	-						
	② 尾張旭市 公民館他	18	尾張旭市文化スポーツ課		300	-						
	③ 長久手市 公民館、文化の家他	2	長久手市教育総務課		50	-						
	④ 日進市				20	20						
					計1,270	20						
情報誌掲載への 依頼	① 尾張旭市公報			B近藤(新) B橋詰	-	-		9月1日号掲載				
	② 全日本合唱連盟会報「ハーモニー」			B松本 S波多野	-	-		季刊誌(夏号)掲載				
	③ 中日新聞			B松本	-	-		9月13日掲載				
	④ 中日ホームニュース				-	-		9月9日掲載				
					合計 9,862	合計 2,181	未配布数 チラシ174枚 整理券15枚					

※9月上旬、宣伝のため、プログラム130部を「愛知県合唱連盟第九演奏会」の合唱団へ配布

●第10回演奏会 印刷物作成記録

2016.10.1 文書係(藤田み)

月	日	印刷物				
		チラシ	整理券	プログラム	歌詞一覧	アンケート
3	末				原稿完成	
4	4	データ送信				
	6	データ受付完了				
	13	完成品着				
		支払済		各先生にプロフィール等依頼		
	19		データ送信			
	21		データ受付完了			
	28		完成品着			
			支払済		団員に配布	
6	18?			各案取りまとめ完了		チェック完了
				↓整理		
				実行委員会にて フォーム承認		
6	23			曲目解説・あいさつ受理	印刷完了	
6	27			原稿完成		
				↓校正		
7	23			先生・実行委員会 最終チェック		
8	12			校了・データ送信		
	17			データ受付完了		
	30			完成品着・支払済		
9	3			完成品団員渡し		
	17			セット		

種類	枚数	詳細	価格	×1.08	残
チラシ	10,000 枚	A4×1P 片面カラー コート紙 90 kg	13,100	14,148	174 枚
整理券	2,000 枚	54×170 片面カラー コート紙 180 kg	11,000	11,880	15 枚
プログラム	1,500 部	A4×8P 中綴じ 両面カラー コート紙 90 kg	20,250	21,870	500 部
歌詞一覧	1,100 セット	A3×2 折 +A4(挟み込み) 両面 1/1 色 上質 55 kg	0	0	
アンケート	1,100 枚	A5×1P 片面 1/1 色 上質 55 kg	0	0	
合計			¥ 44,350	¥ 47,898	

※歌詞一覧・アンケートは公民館の印刷機にて印刷

※チラシ・整理券・プログラムの印刷・製本依頼先: ネット印刷ラクスル <http://raksul.com/>

※チラシ 50 枚、整理券 12 枚、プログラム 50 部を次回演奏会まで副団長が保存

●新聞等掲載の演奏会関連の記事です ♪♪♪

愛知県合唱連盟 機関紙 第34号

2016年2月28日 発行

2016年2月28日発行

合唱連盟「コーラス愛知」

コーラス愛知

発行 愛知県合唱連盟
住所 〒460-8488 名古屋市中区栄一丁目3番3号
朝日新聞名古屋本社内
愛知県合唱連盟 事務局
TEL 052-221-0306 (水・金)

♪ コンサート情報

*本紙発行のおよそ2ヶ月前までに合唱連盟が後援を決定したコンサートです。
詳細はそれぞれの合唱団にお問い合わせください。

- | | | |
|----------|--|-----------------|
| 5/8 (日) | Nagoya Youth Choir Concert 2016 | 豊田市コンサートホール |
| 5/15 (日) | 女声コーラス 青 第10回演奏会 | 三井住友海上しらかわホール |
| 6/19 (日) | エーヴィゲ・ハルモニエ スペシャルコンサート
(稲沢さざんか合唱団、コール・フリュッセ、コールリリアス、女声合唱団「マレー」) | 愛知県芸術劇場コンサートホール |
| 6/26 (日) | 東海メロケモノズ | 愛知県芸術劇場コンサートホール |
| 8/21 (日) | あいち混声合唱団 演奏会 | 名古屋市熱田文化小劇場 |
| 9/18 (日) | 創立30周年 旭混声合唱団 第10回演奏会 | 瀬戸市文化センター |



2016年7月発行

合唱連盟「ハーモニー」

17 (日)	名古屋合唱団 演奏会	
18 (日)	13:30 ~ ミューザ川崎 シンフォニーホール[神奈川] 混声合唱団翠声会 第39回定期演奏会	
	14:00 ~ 横浜関内ホール[神奈川] 横浜混声合唱団 三三七拍子合唱コンサート6	
	14:00 ~ 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール[東京] 室内合唱団VOX GALDIOSA 第19回定期演奏会	
	14:00 ~ 瀬戸市文化センター 文化ホール[愛知] 旭混声合唱団 創立30周年記念 第10回演奏会	
	14:00 ~ 名古屋市文化会館[愛知] コールさわらぎ 第4回コンサート	
	15:00 ~ 京都市立京都堀川音楽高校 音楽ホール[京都] P89 混声合唱団CADENZA 第24回演奏会	
19 (祝)	14:00 ~ 右京ふれあい文化会館[京都] P89 Ensemble Music 第1回演奏会	

愛知県合唱連盟 機関紙 第35号

2016年8月6日 発行

コーラス愛知

発行 愛知県合唱連盟
住所 〒460-8488 名古屋市中区栄一丁目3番3号
朝日新聞名古屋本社内
愛知県合唱連盟 事務局
TEL 052-221-0306 (水・金)
ホームページ <http://www.tcp-ip.or.jp/achorus>

♪ コンサート情報

*本紙発行のおよそ2ヶ月前までに合唱連盟が後援を決定したコンサートです。
詳細はそれぞれの合唱団にお問い合わせください。

- | | | |
|----------|--|-----------------|
| 8/12 (金) | 名古屋少年少女合唱団 50周年コンサート | 愛知県芸術劇場コンサートホール |
| 8/14 (日) | 千葉大学合唱団東海市特別演奏会 | 東海市芸術劇場大ホール |
| 8/21 (日) | あいち混声合唱団 演奏会 | 名古屋市熱田文化小劇場 |
| 8/28 (日) | 第1回 愛知県男声合唱フェスティバル | 刈谷市総合文化センター |
| 8/28 (日) | 混声合唱団コール・グローリア 第13回演奏会 | 三井住友海上しらかわホール |
| 9/3 (土) | モーツァルト200合唱団 第25回演奏会
モーツァルト「ヴェスベレ K339」 | 金城学院大学ランドルフ記念講堂 |
| 9/3 (土) | 混声合唱団愛知学院大学グリークラブ 秋の演奏会 | 名古屋市南文化小劇場 |
| 9/17 (土) | 名古屋合唱団 演奏会 | 愛知県芸術劇場コンサートホール |
| 9/18 (日) | 旭混声合唱団 創立30周年記念 第10回演奏会 | 瀬戸市文化センター |
| 10/7 (日) | 新日鐵住金名古屋合唱団 第19回定期演奏会 | 東海市芸術劇場大ホール |

2016年8月6日発行

合唱連盟「コーラス愛知」

広報おわりあさひ

あさひ

旭混声合唱団
創立30周年記念演奏会旭混声合唱団
若杉 TEL.53-6415

時 9月18日(日)午後2時から(1時30分開場) 瀬戸市文化センター(瀬戸市西茨町)文化ホール 費 無料 他 申し込み不要。会場へ直接お越しください。

2016年9月1日発行
尾張旭市広報「あさひ」

2016年9月9日発行
「中日ホームニュース」

旭混声合唱団が30周年

18日に演奏会 記念ステージなど



旭混声合唱団の第10回演奏会が18日、瀬戸市文化センターで開かれ、午後2時開演。入場無料。創立30周年を迎える同団は、尾張旭市近郊の30〜70代の約40人で活動。

昨年9月、瀬戸合唱フェスティバルでの演奏風景

クラシックから現代の名曲まで多彩なレパートリーを持ちます。節目となる今回の演奏会は、これまでとは一味違ったプログラムで構成します。

記念ステージのテーマは「旭混声の絆の未来へ」。30年の歴史をたどりながら、創立当時から現在までのヒット曲を順に演奏。過去を懐かしむとともに、人と人の絆の大切さや、未来への希望を歌に込めます。

また、名フィルメンパーを中心に結成する弦楽アンサンブルを迎え、シューベルトのト長調ミサ曲を披露します。

旭混声合唱団
18日に演奏会
瀬戸、30周年祝い

9/13
瀬戸、30周年祝い

旭混声合唱団の創立三十周年記念の第10回演奏会が18日、瀬戸市文化センター文化ホールで開かれる。

同合唱団は当初、知人ら十数人で結成された。現在は尾張旭市や瀬戸、長久手市などの六十代前後の約五十人がメンバー。週一回の練習を基本に続けてきた。

十八日は午後二時開演、無料。指揮者やピアノ、オーケストラなどの専門家を招き、シューベルトのミサ曲第二番ト長調といったクラシック曲から、懐かしい日本の唱歌などを四ステージに分けて歌う。

創設メンバーの一人、松本義明さん(七五)は「一人一人が練習を楽しみにして続けてきた。その成果をぜひ楽



創立30周年記念演奏会に向けて練習する団員たち(尾張旭市文化会館で(松本さん提供))

しんでほしい」と話している。

2016年9月13日発行
中日新聞

●演奏会打ち上げ会 会計報告

収入の部	
会費	3,000×39人 = 117,000
レクレーション費残	8,544
演奏会費より補助	9,136
計	134,680
支出の部	
料理	2,000×50人分 = 100,000
ビール	580×30本 = 17,400
缶ビール、お茶、ジュース	16,740
紙コップ、フードパック、ポリ袋	540
計	134,680
残高	0

※缶ビール、お茶、ジュースの残ったものは団員に購入してもらい、
熊本地震の見舞金に入れさせていただきました。 金 10,050 円

以上、報告致します

平成28年10月1日
レクレーション係 大澤 泊子

●会計より報告事項

第10回演奏会費用として、平成27年5月より皆さんから徴収してまいりました負担金(1000円)は、9月をもって終了いたしました。

徴収分内訳：27年度総数(2015年5月～2016年3月) 512名
28年度総数(2016年4月～9月) 267名 合計 779,000円

●熊本地震の見舞金として下記のとおり寄付いたしました

仮 領 収 書	
第 6 号 平成28年度	納 入 旭混声合唱団 様
科 目	2016年熊本地震災害義捐金
金 額	百 拾 万 千 百 十 円 ¥ 26361
上記金額を領収しました。 平成28年10月3日	
日本赤十字社 尾張旭市地区 地区長 水 野 義 則	

(注) この仮領収書は、後日発行する日本赤十字社愛知県支部長の領収書が届き次第無効になります。また、この仮領収書は、所得税等の寄付金控除の証拠書類には使用できません。申告の際には、後日発行する日本赤十字社愛知県支部長の領収書を使用してください。

～30周年記念 第10回演奏会を終えて～

♪ ♪ 団員の感想文 ♪ ♪

(パート別 順不同)

ソプラノ 若杉 佳代

私にとって今まで経験した演奏会の中で一番満足度の高い演奏会でした。アンコール「ラシーヌ雅歌」、至福でした。ご指導いただいた先生方、団員のみなさまに感謝です。

知人がご主人と来てくれました。ご主人の感想「すばらしかった。もういつ死んでもいい。」と…。聴いてくださる方にも何かを届けれた演奏だったのかなと思っています。

(でも、でも、疲れましたね。)

ソプラノ 若尾 紀子

過去、全曲暗譜という演奏会は、何度も経験しましたが、今回程苦労したことはありません。つくづく年齢を感じます。

でも自分ではやり切ったという思いで、満足しています。自分の健康、家族の健康を願い乍ら、いつまで出来るかわかりませんが、続けていきたいと思っています。

ソプラノ 谷口 千賀子

先生方、皆さん、お疲れさまでした。演奏会を重ねるごとにお客様との距離が短かく感じる気がいたします。精一杯表現出来ても、聴く人が少なくでは感動につながらないです。今回、同級生、他趣味、近隣、多くの合唱仲間が来てくださり、素晴らしかった、感動した、と云われ、長く唱ってきて良かったと思いました。家族の応援もあり、主人は毎回来ますが、特に3部が良かったと。昨年結婚した娘夫婦が初めて来て誉めてくれました。ステージの構成がすばらしく、弦楽アンサンブル、ソロの方達の御蔭で、ラシーヌ唱う時思いつき心こめて、もっと唱いたいと思いました。最高の演奏会で幸せに思いました。これからの選曲が楽しみです。何時まで唱えるか分かりませんが、御指導を良ろしくお願いいたします。

ソプラノ 林 優美子

これが最後かな、と思いながら歌い終って、両先生が前向きでいて下さるのが感じとれた時、又、欲が出てきました。嘘のようです。相方の前向きと違い、自分で自分のことがわかるうちにやめたいといつも思っていました。ご迷惑をかえりみず、次の曲はと期待する自分に驚いています。

感想はと言っても、よくわかりませんが、初心のうたは、各パートの入り、その他もろもろ気になりましたが、練習不足もあったかな、歌詞の理解がたりなかったかな(自分がです)。

実行委員の皆さんには、本当に感謝しています。“すごかった”の一言です。

もしかしたら、次回も1ステージでも出していただければ、と希望を持ちます。

ソプラノ 森 ゆき子

9回の演奏会に初めて参加させて頂き、今回で2回目になります。

合唱団に入団する前は考えることもなかったことですが、ソリスト、オーケストラの中で舞台に立ち歌えたこと、本当に幸せだと思いました。

全曲暗譜で演奏会の当日まで不安でした、シューベルトの高い音では声がでなく、どんな声で歌ったのか自分でも分かりませんでした。夢中で歌い、あっというまに終わったような気がします。

これからも練習、楽しいものにしたいと思います。

ソプラノ 波多野 ユキ

本番は何とか暗譜でき、途中詰まること無く、自分なりに声を出し、最後の4ステで美しいオケや、ソリストの先生方の声を聞きながら歌い、楽しいなーもう終わってしまうのが残念だなあーと思いながら歌っていました。

顔の表面で無理に笑わず、声を明るく出すことで笑顔になる！を目標に歌ったつもりでしたが、後で見せてもらったホームビデオには、怪しいニヤケ笑いで歌っている自分がいて、目眩がしました。

歌う姿勢も歌い方も、何が良くて、何が悪いかわからない状態ですが、「もっと上手に歌えるようになりたいなー」と、心から思います。

また新しい曲に出会い、練習できるのが楽しみです。

ソプラノ 藤田 美左紀

欲張って、チラシ・プログラム類、衣装、3ステ台本に関わった結果、穴だらけで終わってしまいました。反省！

特に3ステ！あんな拙い台本にそって3ステを作り上げて下さった皆様に感謝感謝！

でも楽しかった。もっと歌えてればもっと楽しかったらろ〜。今後の課題は、「美人顔」で歌うこと。…無理って？…いや、雰囲気だけでも…なんとか…うっ……。

オケはやっぱいいですね！（分不相応ではあったけれど…）。ぜひまた一緒にしたいです。次回はフルオケってか？うひょ〜♪♪

ソプラノ 高橋 まゆみ

この数か月間、実行委員を中心として団員の皆さんが演奏会を作り上げていく様子を見せて頂き、その素晴らしさに30年間の歴史を感じました。

同時に、入団して間もない私としては「皆さんの足を引っぱってはいけない」とその事ばかりを思い、ただただ歌練習に励みました。

演奏会は緊張してアッという間に過ぎてしまいました。ラシーヌを歌いながらやっと我に返り、この数か月のこと（Credoがなかなか覚えられなかったことや、初心は歌えないから第2ステージは降りさせて下さいとパトリに泣きついたことや…）が走馬燈のようにめぐりました。

そして、こんな素晴らしい弦楽合奏で歌えるこのひとときの終わりが間近いことを感じ、このまま時が止まって欲しい！と目が潤んだことを思い出します。

こんな素敵な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

ソプラノ 紀平 みい子

演奏会のDVDを最初から最後まで見ました。始終緊張していたのがマジマジと顔に出ていたのが印象的でした。今年の春先から旭混声に仲間入りさせて頂き、新入りにも関わらず今回30周年という大事な大事な演奏会に参加させて頂き有り難うございました。曲の意味を理解して、聞いて下さる方が曲の情景が浮かんで来るような演奏をする事を次回の目標にします。

団員の皆様 これから御指導の程宜しく申し上げます。

アルト 伊藤 雅代

旭混声に入団して3回目となった今回の演奏会ですが、あがり症の私は、1回目、2回目は本番で緊張して、頭が真っ白になっていました。しかし、今回は技術委員長という立場からの責任感からか、緊張することなく、神谷先生の求める音楽を一生懸命に表現しなければと思いながら、発声については声を鼻から上の響きを維持して、のどや胸におとさないように、休符では笑顔をキープして口角をあげようと冷静に考えながら、最初から最後まで歌えたかな～と思います。

しかし、人生の半分以上は合唱とともに生きてきた私は、本番回数も決して少なくはないのですが、本番で緊張することはあっても、本番前の数日、不安で眠れない日が続いたのは初めての経験でした。暗譜は諸刃の剣という部分もあり、演奏がとまってしまったらと思うと不安で不安で仕方ありませんでした。

でも本番はちょっとした事故はありましたが、良い演奏であったかと思います。楽しく演奏できたのでないかと思います。また、オケ合わせの会場に無理をお願いしてホールで練習できたのも、とってもよかったと思っています。今後は私自身も含めて発声がまだまだ努力が必要で、次回の演奏会に向けて団員一人ひとりの発声のレベルをあげていきたいと思っています。

何もできない技術委員長にご協力いただいた、皆さんに感謝、感謝です。

アルト 中畑 チズ子

今度の演奏会に出席できたのは、奇跡に近いものでした。九月四日に主人義弘が亡くなり、行事や後始末に追われ、楽譜を見る間もなく、不安で一杯でした。主人は発病して六年、最初の頃は合唱に戻りたいと強く願っていました。初心の歌の楽譜も求めました。

明るく、主人を笑顔にすることを心掛けた介護でした。最後まで耳は聞こえると聞いていたので、童謡や日本の歌を繰り返し歌ってあげました。合唱団にいたことがどれほど主人の人生を彩ったことでしょう。皆様にお世話になり、家族葬と決めていたのに、急遽合唱団の皆様にはお知らせしました。演奏会に向けて頑張っている皆様にご迷惑を、おかけしました。長い間励まして下さり、又お葬式にもおいで頂き本当に感謝しております。

演奏会に出ることは、主人も喜んでくれると信じて歌いましたが、十回すべてに出られたことは、幸運でもあったのでしょうか。

渉外係として、出来得限りの人に声掛けをし、その数は二百人以上にものぼりました。

来て下さった方々からいい演奏会だったととても感謝されました。又、呼んでほしいとも。演奏会が大成功に終わったのもひとえに高い音楽性や、指導力を持った神谷、石川、毛利各先生方、役員の皆様方、団員の結束力によるものと思います

神谷先生の厳しく時にユーモアのあるご指導、石川先生の団員の弱点を知り尽くした上での特別練習は有意義でした。毛利先生ご夫妻のお蔭で、少しずつ声が出るようになりました。

オケの皆様、ソリストの皆様との舞台は夢のようでもありました。この舞台が次の発展へ続くことを信じて共に頑張っていきたいと思っています。

看とるとは確かむること遠郭公

夫逝きて月光に身の曝さるる

アルト 大澤 泊子

30年前の自分は30代だったという事に思い至り、今更ながらに年月の流れを感じています。

仕事、子育てをしながらの活動はなかなか厳しかったですが、楽しい思い出が一杯あり、いい歌をたくさん歌い続けて今があると思うと感慨深いです。今回の演奏会はやはりシューベルトが一番手ごわかったです。すばらしい演奏に助けていただきましたが、自分自身はもう少ししっかり暗譜をして口をはっきり開けて歌いたかったです。聴いてくださった方が、口々にどンドンうまくなっていると言ってくれるのは神谷先生、石川先生、その他たくさんの方にご指導いただいているお陰です。

まだまだ伸びる余地はあると思うので、練習あるのみ、そして練習を楽しみましょう。

アルト 吉原 直子

私はこの演奏会のCDを車椅子のお友達に贈ろうとしています。その方は、今は50代始め頃だろうか、小さい時から周りのみんなを嬉しく楽しく朗らかにする不思議なお姉さんです。I ステの日本の歌や童謡や温かい曲をいっぱい頭の中につめ込んで生きてこられたと思うのです。詩も作ったり、その詩が歌になったりしています。その続きで、私の気持ちは「初心のうた」は重い戦争の歌なのに“泉のうた”を歌い出すと、<車椅子に乗っていても>本当に遠くまで歩ける足が、ひとり歩ける足が道をつくりだす、踊れる、おどれる広い道があるといいなランランランと、空を舞うように踊り続けている様子を想像しながら歌っていました。ミサ曲もソリストにとけ込まれていくような美しい調べでした。

アルト 橋詰 ひろみ

暗譜の毎日が終わり何かぼんやりとすごしています。

弦楽アンサンブルと3パートのソロは心地よく、素晴らしい人達と一緒に歌えたのは幸福な経験です。本番前にスタミナがきれて神谷先生の細かい指揮と皆さんに助けられて何とか歌った感じです。全ステージ、姿勢も表現も悪く旭混声のレベルを下げてすみません。

DVDを見ました。皆、生き生きと歌っていて演奏会成功と思いました。私の現実も見えました。でも、もう少し歌いたい。生活、練習方法を見直してコーラスを続けたいです。

神谷先生、石川先生、毛利先生、団員の皆さま、お世話になり有難うございました。これからもよろしくお願いします。

アルト 後藤 せつ子

おつかれ様でした。実行委員の皆様、本当にありがとうございました。当日の練習にも思わぬミスがあり、不安な中での幕開きでしたが何とか目立ったミスもなく終わることができました。

アンケートの中に「アルト、うるさい」という一文がありました。アルトがうるさがられるほど声が出たのかと逆にうれしくなりました。メンバーの方々の精進の成果です。

個人的には、ミサ曲の歌詞がなかなか覚えられなくあせりました。もう少し早い時期から取り掛かれば良かったと反省しています。

アルト 酒井 富子

素晴らしい記念演奏会のステージで歌えたことは本当に幸福でした。神谷先生、石川先生初め、毛利先生有難うございました。第4ステージでの弦楽アンサンブル、ソリストの方々との共演は夢のような貴重な体験となりました。暗譜に発声と、心を合わせ気持ちを込めて歌えるようにと、特練の場を作って引っ張って貰

った技術スタッフの助けが大です。

知人友人の感想： ①観客の多さにビックリ ②暗譜ですごい！歌声も若々しく素晴らしい ③各ステージ変化があつて楽しかった ④特に第3ステージ：指揮者の指揮で“花は咲く”が歌えて嬉しかった！

私事です、本番ひと月前に不注意から右足の親指を骨折して、アルトの皆さん始め、本番の並びの周辺の方々に余計な気遣いをさせてしまい済みませんでした。温かいお声かけ有り難うございました。

アルト 松本 恵美子

何より若手女子軍団、及び各スタッフ達が手弁当で活躍して下さったおかげで演奏会は大成功いたしました。選曲も構成も次回へ繋ぐ内容でとても良かったです。友人たちも口々に称賛してくれました。

今回、私は歌に集中することが出来、歌い終わった時、満足感で一杯でした。（初心の「泉のうた」は練習不足で反省）

創立以来30年、そこで出会ってきた先生方や団員達、私の人生をどれだけ豊かにしてくれただろう！！

神谷先生、30年の節目にオケ付ミサを取り入れて下さってありがとうございました。私の人生においてとてもいい記念になりました。

ゆっくり感慨にふける間もなく、次の音楽祭に向け新曲の練習が始まるので、ありがたいことに(?)老いるヒマもないといったところです。

あ、それから指笛、なかなか良かったでしょ！どう吹いていいか分からず、一人悶々と練習いたしました。

アルト 大栗 尉子

今回の演奏会、気持ちよく歌いきった！充実感で一杯です。暗譜できたことが満足感への大きな力となりました。やれば出来る！実感した舞台でした。オーケストラ、ソリストの共演と我が団のハーモニーが皆さんの心をとらえ、聴き手と歌い手の気持が一体となり、あのような素晴らしい演奏会になったことと思います。友人や知人によると、何か大きな力に包まれ聴き入ってしまったとのことでした。うれしいですね！演奏会を重ねる度にレベルアップしていく我が団を、ここまで御指導いただいた神谷先生、石川先生には感謝の気持ちで一杯です。ボイトレの先生方にも有り難うございました。後になりましたが団長、副団長、実行委員、技術委員の皆様、各スタッフの皆様のお力にお礼申し上げます。

アルト 藤田 圭子

2年前に入団し、初めての演奏会。20曲もリハーサルを含め1日中歌う体力と、のどの調子が心配でしたが、最後のアンコールまで歌いきり、全曲暗譜なのでドキドキでしたが楽しく歌うことができました。神谷先生、石川先生、伊藤さん、ありがとうございました。また、いろいろな曲を歌いたいです。

アルト 梅村 和子

30周年記念演奏会から3週間が過ぎ、秋の風が肌に心地よく感じられる季節となっております。

高校時代から始めた混声合唱、途中空白の数十年があり、旭混声で歌い始めて13年が経過しております。仕事を終え仲間の皆さんと歌っていると疲れは影をひそめてしまいます。今回9月18日のステージは私にとり入団以来、最もプレッシャーのある練習を経てのものでした。しかし、すべてを歌い終えたとき、何とも形容しがたい昇華しきった満足感の様なものを体感しました。こういう経験ができることは幸せなことだと思います。神谷先生のお言葉の、少し高めを目指してではなく、大いなる高めを目指した第4ステージでしたが、それでも全員が一つに溶け合い歌いきったという満足感。先生には感謝の気持ちで一杯です。反省

点は多々有りますが、次に向かって（少し高めを目指して）一步を踏み出しています。

神谷先生のご指導、石川先生のピアノのご指導は最高です。お二人のもとで、これからも歌いつづけていけることを切に願っております。最後に、団をまとめ支えて下さっている若い役員の皆様、本当にご苦勞様、有難うと言いたいです。

アルト 田坂 千鶴子

「こんなことを言うと失礼かもしれないけれど、旭混声の演奏会がこんなに素晴らしいなんて思いもよらなかった。」と友。「構成が変化に富んでいてよかった。特に3ステはとても楽しかった。」「歌声が綺麗でプロの合唱団の様だった。」と皆、興奮気味に話しかけてきた。その時になってやっと私は演奏会が終わったことを実感した。それにしてもなかなか覚えられなくなった今、暗譜のためにどれだけ時間を費やしたことか。本番前夜も眠かったけれど、微妙に違う音がいくつもある「君や忘る道」と初心の5番「泉のうた」の音の確認をした。

旭混声の演奏会は初めてだが、私は今までかなりの数の演奏会に出ている。しかし、今回ほど大変だと思ったことはなかった。23曲全て暗譜というのも大きかった。それに入団して2年に満たない者にとって、入団以前に皆さんがやった曲は、当たり前のことながら、練習は少ない。そういう歌も暗譜ということなので覚えるのに大変だった。

練習の時、隣へ行き、歌声を録音させてもらい、それを聴きながら、楽譜と首っ引きで覚えた。（快く録音させて下さった伊藤さん、松本さん、本当にありがとうございました。助かりました。）

演奏会の大成功は、神谷先生の高い目標に向けての指導、石川先生のピアノと特練なしには考えられない。（本当にありがとうございました。）技術委員長の熱意、それに私から見ると若手の動きがすばらしかった。演奏会委員長のユキさん、構成から衣装その他一人で何役もされたみさきさん、それに若杉さんを初め表には出なくても、各係の人たちの尽力のお陰で、この満足感があるだと心から感謝している。

アルト 平井 光子

演奏会終了後の友からの第一声は「よく覚えたわね。大変だったでしょう。」そうです、この半年がんばりました。学生時代から半世紀が過ぎ、こんなにも勉強したのは久しいことでした。そのがんばりがあったからの達成感はひとしおでした。パートの皆様にはげまされ、先生方をはじめ、リーダーの方々の指導で、何とか乗り切れ感謝しています。

年齢とともに、できない事がふえていく時、「まだ、できるんだ!」と思える事は大きな喜びでした。

テノール 合瀬 弘正

早いもので、入団以来28年となり、当時を思い出すと40歳前後の方が主力で活躍されておりました。現在自分も含め、皆様お年を召されましたが、演奏は円熟味を増し、魅力的なものとなっていると思います。

この界限での当団の存在感は衰えることがありません。前回の演奏会では、コンテンツに物足なさを感じておりましたが、今回は充実したコンテンツを皆様で作上げたという自負が生まれました。今後とも気力体力が続く限り、ここで歌おうと改めて感じさせられた演奏会でした。団員の皆様、お疲れ様でした。

先生方も役員の皆様も御苦勞様でした。今後とも、よろしく御願い致します。

テノール 酒井 敏行

まずは、無事に終えたことにホッとしています。これが30年を経た合唱団の演奏なのだと実感したので

す。760名にも及ぶ多くの聴衆の皆さんの温かい拍手、295名の方々から寄せられたアンケートにみる称賛や励ましの言葉の数々、何よりも歌いきった満足げな団員の皆さんの表情に、今までの道のりを感慨深く振り返ることができました。

ここまでご指導いただいた先生方のご尽力に、言葉には言い尽くせない感謝の気持ちでいっぱいです。又、特に今回の演奏会では、ソリストの皆様、弦楽アンサンブルの皆様のご協力あつてのステージの実現に、この恵まれた旭混声合唱団の今日にも、こうした機会を与えていただいた関係者の皆さんに心から御礼の言葉を述べさせていただきます。

さて、これからの道のりはどんな歩みになるのでしょうか。いずれにしても、一人ではなしえない合唱の魅力、生活の一部であり学ぶことの多い合唱団活動、人生の糧ともいふべき仲間とのふれあいや絆を大切に、自分自身の進歩・成長と共に、どこまで合唱団に貢献できるのか不安材料の多い今の現況を、加齢と対峙しつつ歩めればと思っています。

テノール 田坂 雄一

演奏会が終わってホッとしています。椅子に座って歌わせていただけて感謝。楽譜は持たずに歌え、正直100%うまく歌えたわけではないですが合格点は取れたと思います。入団2年目で皆さんより歌っている曲が少なく全曲覚えるのに苦労しました。幸いミサ曲には慣れていたので、ほかの歌を覚える時間に回せて助かりました。

第3ステージは皆さんには懐かしい曲だったようで練習時間も少なく、小生は合唱としては歌っていない曲ばかりで、メロディを知っているのかえって覚えにくかったです。第4ステージは特にひとみ先生に感謝。いい弦楽奏者を集めていただいてよかったです。旭混声の指導を始めて18年の神谷先生にも大感謝。

ありがとうございました。

テノール 堀田 和宏

「できる」という言葉は日本語では一つですが、中国語では「会」ホイ「能」ナン「可以」クイーの3種類があります。それぞれ、練習した結果、能力があつて、状況から判断し、できると言う意味です。今回の演奏会では4ステージ23曲すべてを暗譜で歌う事でした。

ノートに23曲すべてを書いてその曲を練習した日時を記入して練習しました。曲によっては10回以上練習しました。でも“できない”曲が多く残りました。演奏会の日がせまって来るに従って、自分は「会」ではなく「能」のレベルで能力がないからできないと思うようになってきました。そのうちに天候不順も重なって喉が炎症で声も出なくなり、耳鼻咽喉科に通院しながらの練習でした。本番近くなって何とか声も出るようになり本番を迎えました。自分でも信じられなかったのですが、舞台に立った途端、良い声が出るようになり気持ちよく歌うことができました。本番だから気合いが入ったのかかもしれません。本当に良い経験をさせて頂きました。これからも足を引っ張らないよう付いて行きたいと思います。

テノール 長江 秀樹

入団して初めて旭混声合唱団創立30年という節目の演奏会に参加できたこと大変光栄に思います。何十時間と皆さんや自宅で練習したのですが、本番はあつという間に終わってしまった感じでした。

その中でも特に第4ステージは最後まで不安だったのですが、テノールの先輩方にリードしていただいたおかげで何とかこなすことができたこと感謝申し上げます。

曲全体を通して言えば覚えるのに精いっぱい、その曲の雰囲気をつかみ感情を込めて歌う余裕はありま

せんでした。また部分的にビデオを撮ってもらったのですが、歌う姿勢や曲に対する感情表現をもっと意識して歌わなければいけないことを感じました。2年目になる10月からはそれらのことを意識してやっていきたいと思います。

ベース 松本 義明

私の長い合唱人生で、今回の演奏会ほど感動したステージはありませんでした。旭混声が名フィルのメンバー各位やソリストの、林剛一さん、毛利さんご夫妻と同じステージに立ったのです。凄いことだと思います。素晴らしい弦の響きと、艶やかで透明感のあるソプラノ、軽やかで伸びやかなテノール、重厚感でしびれるバスの響き、に包まれて気持よく歌え、人生の金字塔となりました。会場の雰囲気も最高で、静かに集中して聴いて頂きアンコールの「ラシーヌ雅歌」のフィナーレの響きが消えると、万雷の拍手を頂き言葉に出来ない、感動を味わいました。

当初は3ステージでお茶を濁す事を考えていた私。神谷先生の提案でオケ付きのシューベルトのミサ曲が決まり、30周年の記念ステージも加わり文字通り記念演奏会にふさわしい陣容が整い、長く厳しい練習が続き、特に全曲暗譜の号令で、一部不協和音も聞こえて来ましたが、創立以来一貫して育んできた団員の信頼と絆で見事クリアしてきました。技術委員長を先頭に、実行委員会や皆の努力と神谷先生、石川ひとみ先生の御指導により今回の成功を掴むことが出来ました。本当にご苦労さまでした、ありがとう。この感動を忘れず体の続き限り歌い続けます。よろしく。

ベース 近藤 鮎太郎

1：暗譜 音符や休止符の長さまで、完全暗譜は出来ませんでした。自分で曲全体をつかんでの感情表現が出来ていなかった。90%位暗譜できたら、楽譜をチラ見程度で歌いこんだ方が完成度が高くなるかなとも思いました。

2：演奏会 折角の良いアンサンブルとソリストでソリストさんも少し歌い足りなかったみたいでしたから、ゲストで1ステージあっても良かったかなとも思いました。又2,3年ごとの演奏会なので、次回も楽器やソリストなどを入れたステージがあってもいいのではないかと、そのために団費の値上げ、若しくは、下記の理由もあり、有料とすることなどは。

私の場合チケットは1000円程度の有料のほうが確実に来てくれる方を特定できて、結果的に来客数を増やせるかなという感じでした。

又売り上げの半分为義援金とすることで、絆コンサートにつながるのでは。

ベース 近藤 新二

旭混声合唱団に入団させていただいて、2回目の演奏会でしたが、正直、疲れました。演奏会の翌日の朝、目が覚めた時、不思議な感覚になりました。それは、学生時代の期末試験や受験が終わった時と同じような何かから解放され、ほっとした感覚でした。久しぶりでした。仕事をしていた時にも感じなかった感覚でした。(公務員でしたので納税者の方に叱られそう。)

これは、演奏会の二か月くらい前から思うように暗譜できない箇所(曲)を毎日自宅で必死(?)に練習していたのですが、能力の不足と加齢による記憶力の低下により、思うように当日本番まで歌えなかったためだと思います。みなさんごめんなさい。

ベース 近藤 進

とにかく「終ってほっとした」というのが一番の本音です。暗譜練習に想いの他苦勞しましたが、それはそれで勉強になりました。

この記念すべき演奏会を4ステージにボリュームアップしていただいた神谷先生に感謝したいと思います。但し、自分自身あれだけの練習時間を頂いたにもかかわらず十分に歌えたとは言えず今後の課題です。一方、最終ステージの曲目については前回「永訣の朝」、今回は「初心のうた」を予想（自分の希望？）しましたが、いずれもはずれでした。

お客様から絶大な好評がいただけましたのも、両先生はもちろん波多野さん始めご尽力して下さったスタッフの方々のおかげです。改めて感謝したいと思います。ありがとうございました。

ベース 佐竹 保

今回の演奏会は従来に増して前広な企画、準備して頂いた神谷先生、石川先生と実行委員会の方々、弦楽合奏の方々、ソリストの方々の各位のお蔭で、私のお誘いした多くの来聴者の方々からも好評を博することができました。茲に関係者の方々に心から感謝申し上げます。

自分としては今回が最後だという心境で、心新たにして来聴者の勧誘と練習に臨みました。早めに案内した方々は期待以上の反応でした。しかし、肝心の暗譜への練習が体調のせいもあったが、8月頃までは何故か無気力感が続き集中力も弱く、その上ベースの核となるベテランに唐突に去られて大変不安、心配していたが、やっと一念発起ができ執念で練習に練習を重ねてステージに立つことができ気持ちを込めて歌ことができ、お陰さまで満足感、征服感も味わうこともできました。更に、当日は雨模様の中にも拘らず多くの方々にご来聴頂き、思わずテンションも上がり気張りすぎて暫くの間「燃え尽き症候群」となってしまいました。重ねて関係者の方々に“感動”有り難うございました。

ベース 橋詰 喬

お疲れさまでした。いい演奏会でしたね。友人は過去最高と言ってくれました、また、経験のある方からは“尾張旭にこれだけの合唱団があるのは、誇れるね”とまで言って頂きました。それを聞いてしまうと、次は！、これからどんな合唱団にしたらいいの！と、また現役時代の発想が出てきました。困ったものです。

そこで、先生の“徒然なるままに”を、久しく拝読させて頂きました。結論は、団にあり、それが為の自己研さんでした。また、前述とのつながりになりますが、うまい合唱団として、応援して頂だける地域への貢献も大切なことと思います。いろいろ考える機会となりました。

●OB から応援メッセージいただきました

OBの末松拓也さん（2004年退団・福岡市在住）からお葉書にて応援のメッセージをいただいておりますのでご紹介します

旭混声合唱団の皆様、お元気でしょうか。また、第10回演奏会開催、まことにおめでとうございます。私は九州で家族ともども、なんとか生きております。大変失礼ながら、皆様とは、長くご無沙汰してしまっており、今回の演奏会には、必ず参ると思い、種々調整しましたが、残念ながら、おりあわず、伺うことができないこととなってしまいました。特に今回は伺えないことを残念に思い、略儀ながら、筆をとりました次第です。合唱団と皆様の繁栄と、演奏会の成功をおいのりいたして結びといたします。

平成二十八年九月十一日 末松拓也

OBの早澤信昭さん(2014年退団・東京都在住)から感想いただきました(打上げでのコメントに追加)

演奏会の感想で言い忘れたことがあります。聴衆の質の変化です。以前は組曲の曲と曲との間に拍手され、神谷先生が仕方なく会場に挨拶することがありましたが、今回はゼロ。古くは子どもの泣き声や駆け回る姿もありました。旭混声がいい演奏を続けると良質な聴衆が来てくれるようになるのでしょうか。いよいよ家族演奏会の域を脱したのでしょうか。そうであれば有料演奏会にしてもいいかも。ただし有料になると別の問題がありますので熟慮が必要です。

OGの須田千賀子さん(2015年退団)からメッセージをいただきました

パヴァロッティうたう！
高いハ音(C)を完璧に歌う「キング・オブ・ハイC」
ギャグも面白い、チケットも高いよ、オッホッホ。

POST CARD

旭混声の皆様！
辛い練習を乗り越え、得たステージの
充実感に酔いしれていらっしゃるのでしょうか。
飲め、歌え〜と存分に楽しい打上げ！
今後の皆様の活躍をお祈り申し上げます。
また、どこかで飲もうぜ〜!! テス
須田千賀子

小澤一雄◎朝日新聞日曜版「サンデーコンサート」1994.2.20掲載。



「旭混声合唱団書込み広場 Web Forum」に気楽に記入してください

演奏会が終わりました。感想等は別途集めていますが、書ききれない感想等を是非この広場に書き込んでください。

なお、投稿は「新規投稿」から始めてください。入力方法がわからない方はどの程度おいででしょうか？広報楽楽 330 号でわからなかった方には必要に応じ「簡単入力ガイド」を作ろうかと思えます。ご希望の方はT田坂までメールください。

なお今後を考えて、ご自分で書き込むことや見る方がどれ位みえるかアンケートを取らせていただきます。ところで、11月6日の尾張旭市民音楽祭は愛唱歌集からですが、著作権の関係もあり、T酒井さんのご努力によりパートCDで配布させていただきました。音源としてはホームページには載せません。

(ホームページ担当 田坂)

楽楽 10月号コンサート案内

朝っぱら！コンサート

加藤恵利子とトリオ de ブランチが贈る心の名曲

加藤恵利子（うた）

トリオ de ブランチ

石川ひとみ先生（ピアノ） 矢口十詩子（ヴァイオリン）

山本直人（オーボエ）

曲目：花かげ、子鹿のバンビ、七つの子、埴生の宿 他

日時：10月22日（土）10時30分開演

会場：北文化小劇場

チケット 1, 200円



瀬戸男声合唱団 第9回演奏会

Zoltan Kodaly BICINIA HUNGARICA I より

Kocsár, Miklós SALVE REGINA

男声合唱組曲 雪明りの路・第二

木下牧子

男声合唱による10のメルヘン 愛する歌より

心にしみる思い出の歌

「大空と大地の中で」他

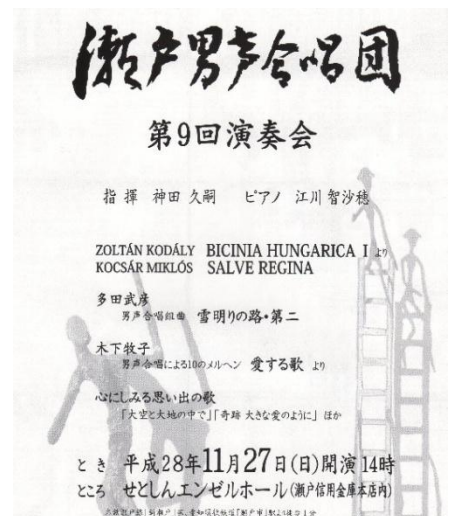
◆指揮：神田久嗣

◆ピアノ：江川智沙穂

◆日時 2016年11月27日（日）開演：14時00分

◆会場 セとしんエンゼルホール

◆入場料 無料



トリオで愉しむクリスマス

J.S.バッハ（グノー編曲）アヴェ・マリア

ピアノ：ブエノスアイレスの冬

アンダーソン：クリスマス・フェスティバル 他

11時30分開演 全自由席

トリオ de ブランチ

石川ひとみ先生（ピアノ）

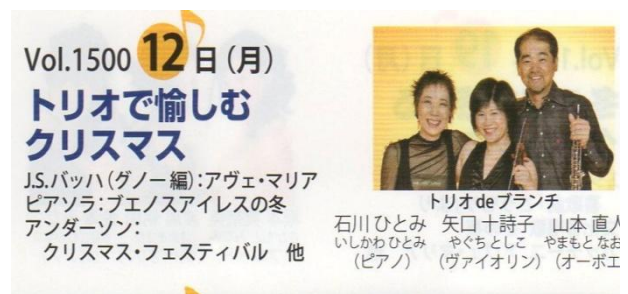
矢口十詩子（ヴァイオリン）

山本直人（オーボエ）

日時：2016年12月12日（月）

場所：宗次ホール

チケット：1, 000円



名フィル第九演奏会

ベートーヴェン交響曲第9番二短調作品125[合唱付]

指揮：モーシェ・アツモン

演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団

合唱：愛知県合唱連盟：

日時：2016年12月16日（金）18：45開演

17日（土）16：00開演

チケット S-6200円 A-5100円 B-4100円 C-3100円 D-2100円

